特別講演

広視野・蛍光イメージング技術で可視化する植物の感覚

Professor of Science

埼玉大学理学部分子生物学科

教授 豊田正嗣 博士（医学）

Event Overview

植物には神経や脳は無いが、外界の情報を感知し、瞬時に信号を送ることができる。例えば、オジギソウやハエトリソウは触れられると葉を閉じ、虫にかじられた植物は揮発性（匂い）物質を放出して周囲の植物に危険を知らせる。近年、バイオセンサーや蛍光イメージング技術の発展により、植物の知られざる情報感知・伝達能力が見えてきた。本講演では、最新のイメージング技術で可視化された映像と共に、植物の感覚について紹介する。「植物がもつ感覚」を解き明かすことで、未来の農業や環境保護に役立つことが期待できる。植物と動物は別の生き物という考えが大きく変わるかもしれない。

Day 2 | 2026.03.18 (wed) 16:10 – 17:10 (全学講義棟1号館 301教室)